

ロンドン
オリンピックの
挑戦者たち

種目：ストリングマシンの製造

東洋造機株式会社

- 北京五輪公式マシン製造
- ロンドン五輪公式マシン製造

DATA：東洋造機株式会社
昭和48年設立。2代目の土田明社長がスト
リングマシン会社へ方向転換。ロンドン五
輪では同社のマシンの活躍が期待される。
住所：埼玉県新座市馬場2-6-5
TEL：048-478-7128

file.2

ラケットのガットを張るマシンで 五輪選手を支える町工場

オリンピックで表舞台に立つことはないが、その影で選手を支えているのが東洋造機株式会社。テニスやバドミントンなどのラケットのガットを張る同社のストリングマシンが今回のロンドン五輪のオフィシャルマシンとして採用される。



挫折

Frustration

ラケット素材の大変革が起こり
金属製ラケットの製作を断念

東洋造機株式会社が電動式のストリングマシン(ラケットのガットを張る機械)の製作に携わるようになったのは30年ほど前のこと。

2代目の土田明社長がアメリカから帰ってきた友達が手にしていた金属製のラケットを見て「これは商売になる」と確信したことに始まる。

すぐに金属製ラケットに手を出し、一時的に売れたものの、ラケット素材の大変革が起こる。あっという間に金属製からFRP(ガラス繊維入り強化プラスチック)に切り変わっていったことから次第に売り上げは落ち込み、ラケット

の製作を断念せざるを得なくなった。

開発

Development

オンリーワンの技術で
大手が手を出さない分野で勝負

それでも土田社長はへこたれず、次に考えたのがストリングマシン。当時はまだラケットはストリンガーといわれる職人が手でガットを張る時代で、土田社長はラケット作りの経験から、ふと「これを電動にできないだろうか」と考えた。土田社長は機械が専門で、電気の知識が乏しかったので、昼は家業に精を出しながら夜学で電子工学を学び直し、試行錯誤を繰り返す。そして、ついに84年に最初の電動ストリングマシンを完成させる。

マシンの基本的な性能は「ラケットを固定する」「糸を引っ張る」「糸を止める」の3つ。特に糸を止める「ストリングクランプ」といわれる部品は世界一の軽さを誇り、耐久テストでは1万本以上のガットを張ることができるため評判を呼び、その後、同社のマシンの性能に惚れ込んだアシックスやプリンス、ゴーセン、トーアといったメーカーにOEM供給されるようになった。「思いきって96年にスト



同社のマシンでガットを張るヨネックスのストリンガー

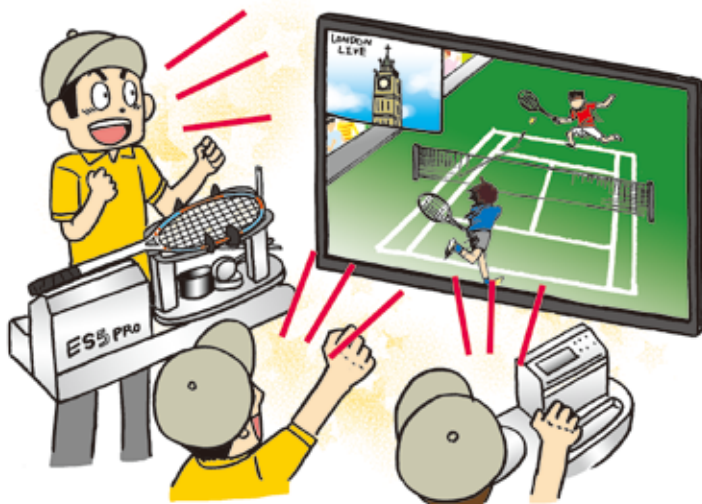
リングマシンの専用工場として建て替えました。オンリーワンの技術で、大手が手を出さない分野で勝負する。社員10人の町工場の強みはここにあります」と土田社長は語ります。

飛躍
Activity

ヨネックスと国内独占契約 連続で五輪の公式マシンに

02年からは大手スポーツメーカーのヨネックスと国内独占販売契約を結んだ。「それまで付き合いのあったメーカーと契約を解除したため、売上はそれまでの3分の2に減ったものの、その分、良質で大きな仕事ができるようになりました」と土田社長。というのも、05年に全豪オープンオフィシャルストリングマシンに採用され、中国、韓国、マレーシア、インドネシア、タイといったアジア諸国だけでなく、ドイツ、スイスなどのヨーロッパからも注文が増え、売上は輸出が50%を突破。世界にその名を響き渡らせることになった。

それだけではない。08年にはヨネックスマシンが北京オリンピックで公式採用され、テニスだけでなくバドミントンにも1台およそ100万円の東洋造機のストリングマシンが使われた。同じメーカーのストリングマシンが2つの競技で公式採用されたのはおそらく初のこと。ストリンガーだけでなく世界のトッププレイヤーから「このマシンで張ったガットなら安心して試



ロンドン五輪公式マシンの前で意気込む土田社長

マシンの90%の部品が自社製品。他社に比べて圧倒的に軽く、クランプといわれる部品1本で1万本以上のラケットのガットを張ることができる。1カ所が壊れても使えるようにスタートスイッチは3カ所に設置され、持ち運び安いように全体は4つのパートに分解できるなど、顧客の立場でマシンを改良している。

合に臨める」との賛辞の声が寄せられた。

そして今年、テニス、バドミントンの発祥の地、ロンドンで開催される五輪の公式ストリングマシンに採用されることが決まった。すでにテニス用に11台、バドミントン用に9台をロンドンの五輪会場に納品済み。土田社長も「今回はスマートフォンなどで使われるタッチパネルを機械に組み込んでいます」とその完成度に自信を持っている。

「前回の北京五輪、そして今回のロンドン五輪で公式マシンとして採用されることになったのはヨネックスの力があったからですが、技術の高さがあったからこそ選ばれたのだと自負しています。日本や世界中のトッププレイヤーがヨネックス製のラケットを使うので、うちのマシンが活躍します。私も五輪会場でしっかり応援したいと思っています」